

Debt and Forgiveness

私たちの負いめをお赦してください。

私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

マタイ6:12



CFNJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネイションズ・ジャパン聖書学院

2023年7月・8月号 NO.190

「負い目と赦し」

And forgive us our debts,
As we forgive our debtors. Mat6:12

「私たちの負い目をお赦してください。私たちも、
私たちに負い目のある人たちを赦しました。」
マタイ6章12節



学院長 鍛冶川利文

この祈りは「山上の説教」の「主の祈り」の中にある、イエス様が自身が弟子達に教えられた、私達の人生に欠かせない大切な祈りの言葉です。この祈りの前の「日ごとの糧」の祈りはいのちを支える為の「身体の為の糧」の祈りであるように、この祈りも心を支える為の「心の為の糧」の祈りです。人はパンのみで生きるのではないという言葉通り、生きるこの意味を私達に教えています。

1. 「負い目」とは何か？

「負い目」とは何でしょうか？それは日々の生活の中で、人と人が関わり合う所ならどこでも、そして誰とでも起こりえる人間関係のぶつかり合いから発する思いです。ギリシャ語の原語では「オフエイレマ」という言葉です。それは「当然に支払うべきもの」「借金」ということです。口語訳聖書では「負債」と訳されています。ですから、「負い目をお赦してください」という祈りの言葉は、神に対するもので、「神様に対して当然払うべき義務を自分は果たしていない。」という責めの気持ちです。又、人に対しては、

「他者から借りたものを（物質・精神的に）返していない。」という心の負担です。ちなみに「引け目」は、別に誰に対しても借りはないはずなのに、勝手に自分から気持ちを引いてしまうことです。これは劣等意識からのもので、必ずしも持つ必要のないものですが、これも強く心に負担を感じます。私も過去の多くの失敗から、今でも「負い目」の感情に苦しみます。『ああ、なんであんなことをしてしまったのか。』『あの時には全然、気がつかなかった。』『今考えれば自分の事しか考えていなかった。』そんな「負い目」による心の負担から、心や態度を引いてしまう自分がいます。自分が人に何かをしてしまったと。その場合の多くは誤解から生まれる事があるかもしれません。しかし、その誤解を解かないまましていると、やがてその感情が「罪責感」に発展したり、又、強い「自責の思い」へと進んでいきます。「罪責感」は、自分に罪がある事を感じて、自らの罪を責める事です。又、「自責感」は、自分で自分を罪に定める事です。そのいずれも、過度に進むと病になります。この自分自身を責める「負い目」の逆は、負い目を背負わされたという「被害者意識」です。しかし、そ

の両者にある背後の思いはいずれも同じ「怒り」の感情です。被害者意識は「他者への怒り」があり、自責意識は「自分への怒り」の思いです。いずれにせよ人生は、この「負い目」を日々、「負わされたり」、「負わせたり」をくりかえして生きていくのです。この事から誰も逃れることはできません。又、だからこそイエス様は、この祈りを日々、毎日、祈るようにと弟子たちに教えられました。

2. 赦ししかない！

この「負い目」を、「負わせる」ことも、「負わされる」ことも、どちらとも解決は「赦し」しかありません。イエス様はマタイの福音書の中で、被害者意識をもって兄弟から何度も「負い目」を負わされ続けていると感じていた、ペテロからの質問にこう答えました。

「そのとき、ペテロがみもとに来て言った。『主よ。兄弟が私に対して罪を犯したばあい、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。』イエスは言われた。『七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。』」マタイ18章21節～22節

これはペテロがいったい何度まで、兄弟からの「負い目」を負わされても我慢すべきか？という怒りの思いを、逆に、主は「赦しの大切さ」を教える為に語られた言葉です。それは何度までという回数の問題でなく、又、自分の正しさを証明するためでもなく、「赦す心」と「自分の立場」を私達に教えています。ペテロは、主に何処までも従う誓いを立てました。しかし、身に危険が迫ると、いとも簡単にイエス様を見捨てて3度も強くイエス様を拒絶します。ペテロはその自らの「負い目」に耐えきれず涙を流します。(ルカ22章62節)そしてペテロは故郷ガリラヤで漁師に戻ります。しかしイエス様はそのペテロの前にご復活のお姿として現れ、3度否定したことへの赦しのしるしとして、同じ3度、主を愛する事と、主の小羊を養うように命じられます。

「彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなただを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」(ヨハネ21章15節)

このことは、ペテロが自分の負い目の責めによって一生苦しむことのないよう願われたイエス様の愛のご配慮でした。私たちはペテロのように、あるときは「負い目」を負わされ、又、「負い目」を負わせる者となるのです。だからこそ常に赦しの心を持たなければなりません。もし人を許す事が出来ればどうなるでしょうか？

1. 相手は解き放たれ、自分の心も解放されます。自由になります。
2. 何が本当に大切な事が分かります。(愛) その結果、自分の人生の目的が見えてきます。
3. 赦しは人を癒やします。(身体も)そして、人生を新しく前進させます。

3. この祈りは感謝を忘れない為！

イエス様がここで私達に教えておられる事は、私達が赦したから赦されると言うことではなく、私達は既にイエス様の十字架により、完全に罪赦されたものとされました！ですから、2度と私達の罪は裁かれることはありません。

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」ローマ書8章1節・2節

しかし、日々犯してしまう、「負い目」があります。「負債」があります。その為に、その赦しを求めて神様に祈る必要があります。それは、自分の罪をいちいち数え上げて「自己憐憫」に陥る為ではなく。既に大きな「罪」という借金を許して頂いた者として、その感謝を忘れない為です。ですからこの祈りの意味は、「当然、私達は許されたものですから、日々の小さな負債

(次ページに続く)

から、神様！、私の負い目も許して下さい。」という、日々の主への感謝と赦しのすばらしさを覚える為の祈りです。

「**日毎の糧を与えたまえ。**」は、当然、私達の父である神様は喜んで、全ての必要を満たしてください方である事をいつも忘れない為の祈りです。それと同じように、「**私達の負い目を許し****たまえ。**」は、どんなに赦す事が大切な事で、又、私達がどんなに大きな愛によって赦されている者かを覚える為の祈りです。

2006年10月にアメリカのペンシルバニア州にある「ランカスター」という町のアーミッシュという教派（独特のアメリカの開拓当時の信仰生活を守っている団体）の小学校に、一人の男が乱入し、児童や教員を銃で殺傷する事件が起きました。これは大変ショッキングな事件として全世界に報道されました。とても痛ましいニュースでした。この容疑者は、犯行後に自殺しました。この犯人は、アーミッシュの信者ではありませんでした。彼は、なぜ、このような事件を起こしたのかというと、それは事件の9年前に娘を亡くしており、それを契機に神への反発心からこの事件を引き起こしたと言われています。その事件のニュース記事の内容です。

「米東部ペンシルバニア州にあるキリスト教プロテスタントの一派で、一切の暴力を徹底的に否定し、独自の共同体社会の中で生活するアーミッシュの運営する学校に男が乱入し、13歳、12歳、8歳の女子児童と7歳の女子児童2人の計5人が銃で撃たれ死亡した。死亡した中で最年長の13歳の児童は、容疑者の男が教室内で多数の女兒に銃口を向けた際、『自分を先に撃ってください。他の子は解放してください。』と告げた。又、撃たれて肩などを負傷した11歳の妹も男に対して、『姉の次は私を撃ってください！』と伝えたという。又、一部児童が男に、『何故？このようなことをしているのか？』と聞くと、男は『神に対して腹を立てているからだ』と答えたという。これらの状況は、妹ら生存者

の証言などから判明した。」

この子供達の姿に、世界中の人々が大きな衝撃と感動を受けました。しかし、更に驚くことは、その被害者である、アーミッシュの家族たちが、「犯人を赦す」と公に告白し、それを態度で示したからです。事件発生のその日に、アーミッシュの家族達は、犯人の遺族に対してこのような声明を発表しました。『あなたたちには何も悪い感情を持っていませんから、私たちはあなたを赦します。』と伝えたというのです。それはなぜ？そのようにしたかということ、その理由を語っています。

『犯人の遺族は、自分たちよりも、もっと事件の犠牲者だからです。それは公に家族達のプライバシーも暴かれている状態で、夫であり父を失った上に、自分の家族がこのような事件を起こしてしまったという「負い目」を、生涯、背負わなければならなくなるからです。』と述べたということです。その後、犯人の家族を訪ねて、殺された何人かの親たちは、何と！犯人一家を、娘の葬儀に招待したそうです。そして、さらに犯人の埋葬式に参列した人の半数以上が、アーミッシュの人たちだったことです。なぜそのような事が可能だったのでしょうか？それは、このような思いからでした。「それは、自分たちも日頃、負い目を感じて生きているからです。そんな負い目を人に負わせたくないからです。」

「**私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。**」

マタイ6章12節

私たちは日々の暮らしの中で、人に、そして自分で負い目を負い、又、負わせる事はあることです。しかし、だからこそ私たちは、日々主の十字架を仰ぎ、主からの赦しを受け、そして、人々に与えることにより、神様からの平安が訪れるのです。イエス様と共に歩む為の軛(くびき)は負いやすいのです。

「**わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。**」マタイ11章30節 ■

神は私たちを 変え続けられるお方

シャインチャーチ牧師
中山有太師

「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」 1ペテロ1章23節

皆さんとこの期間、ともに神様によって変えられていく、刷新されていく、そのような時となることを願っております。

皆さんがイエス様と出会ったときはいつでしょうか？私は牧師の家庭に生まれ育ちました。ですから教会に行くのが当たり前の日常でした、というか、自分の家が教会でした。一階が会堂で、二階が家族の部屋でした。一階にある冷蔵庫やキッチン、教会と家庭で共同で使っていたので、たまに自分の飲みかけのジュースを教会の誰かが取って飲んでしまったということもありました。

小学一年生の時に洗礼を受けたいと思い、受けたのですが、でも個人的なイエス様との出会いはまだでした。それでも教会には毎週、日曜と水曜は欠かさず行き、奉仕はしていたのです。奉仕の

内容は、楽器はギターと歌の奉仕でした。ほぼ義務感でやっていました。そんな自分にとって一番嫌だったのは、日曜の午後に駅前でするストリート伝道でした。それは心から歌えないのに「心から」という賛美を歌わされるからです。

でも20歳の時にイエス様と個人的な出会いを集会の中でしました。その時にイエス様が自分の目の前におられることを感じたんです。その瞬間、自分はイエス様に愛されていることがわかりました。そしてその愛に圧倒されて、涙が溢れ、思わず、「あなたについていきます！」と言っちゃったんです。そこから自分の人生は完全に変わってしまいました。皆さんにもそれぞれイエス様と出会った時があると思います。劇的な出会いもあればそうではない方もいると思います。でもイエス様の十字架と復活を、自分のためだと信じたならば、その人は新しく変えられるんです！

「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」 1ペテロ1章23節

この御言葉は私たちが新しく生まれ変わったのは、神のことばによってであると教えています。これはみことばなるイエス様によって、私たちが変えられたということです。この箇所の言い換えが、同じ1ペテロの1章18節・19節にあるように、「ご承知のように、あなたがたが父祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。」1ペテロ1章18節・19節

つまり、私たちが贖い出され救われたのは、銀や金のような朽ちる物によってではなく、キリストの尊い血によって新しく変えられたということ。そして、私たちは、ただ変えられて終わりではなく、変えられ続けていくということです。神様は私たちをそのように導かれているのです。神様はありのままの私たちを愛してくださっています。でも愛しているからこそ、そのままにはされないんです。私たちがもっと解放されて、自由にされて、伸び伸びとした信仰を持って、私たちを通して主の栄光がもっと現されていく為に、神様は、私たちを更に変えようとしてくださるのです。今日はそれを見ていきたいと思います。

1. 神への愛が変えられる。

「これらの出来事後、神はアブラハムを試練に合わせられた。神は彼に、「アブラハムよ」と呼びかけられると、彼は、「はい。ここにおります」と答えた。神は仰せられた。「あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。」創世記22章1節・2節

ここにはアブラハムの人生最大の試練が書かれています。「神はアブラハムを試練に合わせられた。」とあるように、神様は敢えてこの試練をアブラハムに与えました。息子のイサクをいけにえとして捧げる。イサクはアブラハムにとって何十

年も待ち続けてやっと与えられた待望の息子であり、愛しているという言葉では表現できないほど溺愛していたと思います。もしかしたらアブラハムの中でイサクは神様と同じくらい大切な存在、もしくは、それ以上の存在だったのかもしれませんが。だから神様は、アブラハムを試練に導いていくのです。神様は私たちが何に一番価値を置いているのか？何を愛しているのか？何に夢中になっているのか？それを見ておられるんです。

私は大学生になってからめちゃくちゃゲームにハマってしまいました。「ファイナルファンタジー」、「ウィンニングイレブン」が大好きで、平気に一日8時間くらいしていました。神学校に入ってから一度、ゲームから離れられたんです。でもパソコンでゲームができることを知ってしまって、またパソコンでゲームを始めていくんです。当時 mixi という SNS があって、その中に、「サンシャイン牧場」という牧場を経営する育成ゲームがありました。早天の前にそれを開き、早天の後また開く。また神学校を卒業してPSPを買って、サッカーゲームをし始めるんです。時間が空けば、とりあえずゲームみたいな生活をしていました。

ある日いつものようにゲームをしていると、妻から低いトーンの声で言われたんです。「有太くんの本業はなに。」なぜかその妻の一言で目が覚め、ゲーム関係の物全てを売ったんです。このままじゃもうダメだと悔い改めました。そして、主を慕い求める時間が増えていくんです。それから『御顔の光』というアルバムに入っている曲が生まれていきました。

神様は、私のことをわかっていたんです。私の情熱がゲームに向いていることを。神様はこういう所から始めていかれるんです。神様は、私たちが神様と同じくらい夢中になっていること、それ以上に夢中になっていることを取り扱っていかれるんです。ある人にとっては、お金、仕事、奉仕、家族、趣味、勿論、こういったものを追い求めて

もいいと思うのですが、神様以上に価値を置いているなら、神様はその部分を変えようとされるのです。

2. 自分のプランから神のプランに変えられる

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。(主の御告げ) 天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。」イザヤ書 55章8節・9節

私たちには自分が思い描いている人生のプランがあるかもしれません。でも思い通りにいかないことがほとんどです。だから神様を信頼して、この方についていくことが必要です。神様の思いは私たちの思いと異なり、神様の道は、私たちの道と異なるとうるやうに、神様のプランと私たちのプランは違うということなんです。でも、「**天が地よりも高いように神様の道は私たちの道より高い。**」とあります。つまり神様の方が、私たちより断然、知恵深くて、素晴らしい道だということです。

自分が卒業した神学校の名前は、「拡大宣教学院」と言います。そこで3年学びました。大学生の時、明確に主に語られたんです。「わたしのために捧げる道はあなたにとって一番幸せな道だよ」それから献身を決意して、大学を卒業して神学校に入ったんです。学院長からは、入学前から言われてました。「有太くんのためにいっぱい働きを用意しとかないとね!」私はその言葉を聞いて、相当意気込んで入学したんです。「よーし、主の為にガンガン働いていくぞ!」と。しかし私を待っていた奉仕は、2000坪の敷地の草刈り、冬の雪かき、薪割りでした。それらは私が思っていた物とは全く違うものでした。私は、何かもっと大きなプロジェクトとか、又、人前にもっと目

立つことかと思っていました。しかし現実には、ひたすら人目につかず、あんまり褒められないような奉仕ばかりでした。私は「主のために何でもする!」と言ってたんですけど、でもそれは自分勝手に自分の働き方を決めていたと思い知らされました。

自分の計画では神学校での学びを終えたら、地元の福岡に帰ろうと思っていました。しかし、2011年の3月に「東日本大震災」が起こり、東北の各地が被災します。その事があって私はボランティアコーディネーターを任されました。そして8年もの間、村人として生活しました。そして、更その後、私は一番したくなかった開拓へ導かれていくのです。神様は、時として私たちが思い描いているプランを「そうじゃないよ!」と導かれることがあるんです! 神様に、「こう用いられたい!」「ああやって用いられたい!」と、将来のプランを立てるかもしれません。でも「用い方」を決めるのは神様です。だから、私たちは柔軟になっておきたいと思います。神様の示される道は、私たちが一番主の栄光を輝かせていく道です。だから最高です! 神様を信頼していきましょう! 自分のプランをがっちり握っていたなら、それを神様に委ねていく者でありたいと思います。

3. 苦しみの中でイエス様のように変えられる

「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています

す。」ローマ8章26節～28節

私は2015年に福岡に帰りました。「よっしゃ！福岡で神様の為にやっけていくぞ！」と意気込んで帰りました。でも状況は苦しいことばかり起こるんです。内容は言えないんですが、でもそれが立て続けに起こって、それで身体に変調をきたしてきて、ある時、朝起きたら片耳が聞こえなくなっていたんです。病院で診てもらったら「突発性難聴」と言われました。又、ある時は、いきなり過呼吸気味になったり、本当につらい時期が続きました。

そういう私自身の弱さを憶えさせられていたとき、私は自分の無力さを認めて御霊ご自身を求めたんです。「助けてください！」と。それまでは自分の力で働きをやっていたんだと思います。自分ならできるというプライドもありました。「開拓だって出来る！」「人のケアもできる！」そう考えていたんだとおもいます。でも出来ませんでした。私は、弱さの中で碎かれて祈りました。「主よ、あなたが必要です！」やがてそこから少しずつ回復が始まっていったんです。

私たちがどのように祈れば良いか分からなくなるくらい、弱くされる時があると思います。ローマ8章には、パウロ自身が、その時に「御霊が助けて、私たちのためにとりなして下さる。」と言っています。どんなに弱々しい祈りでも、又、言葉が上手く出でこず、自分が何を祈っているかも分からない、そのような祈りでも、私たちが弱さを認めて、御霊に助けを求めていくなら、その祈りは神様に届いていくんです。

御霊は、無理やり私たちを助けようとはしません。私たちが心を開くときに御霊は働いてくださるのです。そしてローマ書8章28節にあるように「神がすべてのことを働かせて益として下さる。」と約束されています。この「益」とは何でしょうか？私たちが考える「益」とは、例えば「病気が治る」とか、「良い学校に入学する」とか、「良い職場に就職する」とか、又は、「事業に成功する」ということを考えるかもしれません。でもここで

いう「益」とは、私たちがイエス様のように変えられていくということです。

神様はいろいろな苦しみを通して、私たちを造り変え、キリストに似た者とされようとされます。つまり苦しい体験をするからこそ、人の痛みが少しでも分かるようになったり、それを通してイエス様の苦しみが少し分かったりするのです。道ですれ違う人が、暗い顔で落ち込みながら歩いているのを見たら、祈りが沸いてきたり、人に優しくなれたり、御霊の実が少しずつ結ばれていくんです。神様は苦しいことも、すべて益に変えて、私たちをイエス様のように変えようとしてくださるお方です！今日苦しみの中にいる人がいるなら、弱さを認め「主よ、助けてください！」と求めていきましょう！そう祈るなら「益」に変えられていきます。

神様は私たちを急に変えるのではなくて、少しずつ、少しずつ、変えていかれるお方です。そして、その変えられていくスピードも、それぞれ違うと思います。だから比べなくていいんです。ただ「変えてください！」そういう思いを持つことは必要です。神様は私たちを変えようとしておられます。■



「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。」詩篇121篇1節・2節



新入生のごあいさつ

この年度から、新たに学びをスタートした新入生の為に、お祈り、又、サポートをよろしくお願いいたします。

■ 私は2003年からミャンマーで宣教活動をしていましたが、2020年にコロナのため日本に帰国しました。その後クーデターが起こり戻るのが難しくなったので、今後の導きを祈っていました。その中で、長男の雄基が卒業したCFNJ 聖書学院で学びたいという

思いが与えられて、今年の4月からアルプスコースに入学しました。日本の教会で尊く用いられている先生方の知識と人生から学べるのは素晴らしい特権です。今後の導きを主に期待します。

アルプスコース

伊藤 昭廷 (ソジョン)



■ 3年目にいくことで、本当に長い間、葛藤していましたが、結果的に、神様の導きで3年目の学びができることを主に感謝しています。この1年、本当に主だけを見つめ、主に信頼し、又、期待して過ごしたいと思います。与えられ

た学びの恵みを余すことなく受け取れる1年にしたいと思います。これからの主の御業に期待します。お祈りをよろしく願います！

アルプスコース **秋山 耕平**



■ CFNJ は、主の臨在を豊かに味わえる隠れ場で、御言葉の知恵を深く学べる場所です。ただ2年前の入学当初に想像していた形ではなく、本当の隠れ場は私の心のうちであり、それはキリストのからだに組み込まれる中で、安息を得られ教えられることを学院生活で

体感しました。アルプスの実践的な学びを通して、自分自身がますます解放され、主の創造された姿に帰っていき、どこに置かれてもイエス様を証しし祝福を流す器として整えられていくことを主に期待しています。いつもお祈り感謝いたします！

アルプスコース **仲井 恵**



■ 主の御名をほめたたえます。この度は、多くの方々のお祈りと助けを頂いて、学院への扉が開かれました。入学前に拝読した CFNJ NEWS にて、鳩についての記事が載せられていたのですが、その少し以前の個人的生活の中で不思議と実際に部屋に鳩が留まっていた事がありました。マタイの福音書

3章16節にあるように、実際に神の御霊が鳩のように下って来られ、渡り鳥を通して語って下さったと促しを感じ入学を決意致しました。慣れない地での生活となりますが、主との更に親しい日々の幸いな交わりの時となりますように願っております。

2年コース **埴 茂樹**





YFN 2023

ゲスト/中山有太師



3年ぶりのYFN開催!

■ 去る5月19日～20日、これまでコロナで開催できずにいた対面でのYFNについて3年ぶりに開催することが出来ました。1泊2日の短縮プログラムでしたが、参加者も目標の50名が与えられ、素晴らしい喜びと賛美にあふれた祝福に満ちた時となりました。

テーマも「刷新」と言うことで、日々私達を新しく変えて下さる御霊なる主の働きについて、ゲストの「中山有太」牧師を通して語られ、また土曜日午後のゲーム大会

では体を目いっぱい使った活発で楽しいゲームに興じ、「良かった～!」「楽しかった～!」「来年も、又、来たい!」という言葉を残して参加した若者たちはその喜びを携えてそれぞれの場所へと帰って行きました。デイレクターとしてすべてを準備し導いてくださった「坂本牧師」夫妻と、懸命に若者たちに仕えてくれたCFNの学生たちに心から感謝します。参加者の皆さん、来年もぜひ、たくさんのお友達を誘ってYFNに参加しましょう。ハレルヤ!!



2023年度 2学期

授業カリキュラム スケジュール

(2023年9月4日(月)～12月1日(金)迄)

CFNJ 講義・ ゲストスピーカー

9月

●ゲストスピーカーの講義は、どなたでも聴講できます。聴講は無料です。(席上献金あり。一部授業は有料)又、各コースの授業も聴講可能です。(有料)詳しくは学院事務局迄お問い合わせください。



有賀喜一師

●伝道者・神学校教師。学院顧問。

9/4～8 1・2時間目

8日・「合同賛美祈り会」

●場所/ ICF 教会 ●時間/午後7時30分～



ロドルフォ・ ガルサ師

●アマッタ・デ・モントレ牧師
前CFNJ学院長

9/4～7 3時間目

5日・「合同賛美祈り会主催牧師・リーダーセミナー」

●場所/ CFNJ 聖書学院 ●時間/午後2時～4時



キム・ウヒョン師

●韓国国営放送KBSのドキュメンタリー映画監督として働き、現在は神の御国のための映像と御言葉を伝える事に集中している。「天のことは」「八つの祝福シリーズ」「神の心臓イスラエル」「主の道を進んで」を執筆。

9/19～20
1・2時間目



ティモシー・ ホンザレック師

●CFNI 卒・ギター講師。プロフェッショナル・ボイストレーナー・キングダムファンデーションメンバー・教師。

9/25～29
1・2時間目

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

1・2年コース(必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM8:45～9:40	旧約聖書概論Ⅱ 金聖圭	約東の地を 所有せよ 三浦雅範	世界教会史Ⅱ 鍛冶川利文	世界教会史Ⅱ 鍛冶川利文	雅歌の学び 松原望
2 AM10:00～10:55			エペソ書 坂本清憲	使徒の働きⅡ 田中博	
3 AM11:05～12:00			使徒の働きⅡ 田中博	宣教の学び 伊藤仁	

アルプスコース(必修科目)

1 AM8:45～9:40	祈り 田中博	リクリスチャー リーダーシップ 長沢克己	五役者の学び 岡田好弘	ヨブ記Ⅱ 石田吉男	牧会カウン セリングⅡ 小栗昭夫
2 AM10:00～10:55					
3 AM11:05～12:00					

選択科目

午後 AM 13:00-15:00	ドラムクラス 仲宗根昇平			実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
----------------------	-----------------	--	--	------------	-----------------------

新入生募集集中!

2023年9月入学、各学期からの入学可。

随時願書受付中!

cfnj.com

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)

※詳しくは事務局まで。

- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。

■SNSでCFNJの最新情報を
・Facebook : @CFNJBS
・Instagram : CFNJ 聖書学院

CD販売・刊行物

●お申し込みは/学院事務局まで

「聖霊のバプテスマを受けるには」(ゴードン・リンゼイ著)

「いやしの信仰」(ゴードン・リンゼイ著)

「山をも動かす祈り」(ゴードン・リンゼイ著)

「主の恵み尽きることなく」(鍛冶川 紀子著)

CFNJ小冊子
無料プレゼント!



「神の指がふれた時」 定価/1枚(CD) 700円 (送料別)

「神のみことばのいやしの力」 定価/1枚(CD) 1,000円 (送料別)

「神様との会話」 CFNJ 聖書学院 副学院長 鍛冶川 紀子

※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>

2022年度 CFNJ会計報告 (2022年4月~2023年3月)

収入		支出	
前期繰越	2,126,862	給与手当	14,378,200
KF献金	18,549,920	謝礼金	2,048,444
ボイラー献金	0	対外献金	359,000
団体献金	2,017,615	水道光熱費	6,933,226
個人献金	3,337,992	旅費交通費	1,163,328
授業料収入	2,254,770	印刷費	383,404
寮管理収入	4,031,500	通信費	1,142,402
食費収入	1,319,406	消耗品費	665,959
その他の収入	766,593	火災保険	525,600
		修繕・維持費	2,379,619
		食費(材料費)	1,513,708
		広告費	165,880
		法定福利費	1,949,490
		その他の支出※	1,343,934
		支出合計	34,952,194
収入合計	34,404,658	次期繰越	-547,536
	34,404,658		34,404,658



CHRIST
FOR THE NATIONS
JAPAN

宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネイションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
(0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

●HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688

●e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

